



九条の樹

東久留米「九条の会」ニュース 第29号

2010年9月発行・東久留米「九条の会」
代表者 古田足日・連絡先 鈴木Tel.042-473-9489
<http://members2.jcom.home.ne.jp/hgsk9jk/>

憲法9条を守り、生かす・東久留米「九条の会」は5周年

9・25東久留米「九条の会」5周年の集い

東久留米「九条の会」5周年のつどいが近づきました。多くの皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

(4ページ下段に詳しく掲載)講演する品川正治(しながわまさじ)さんについてご紹介したいと思います。



品川正治さん

1924年、兵庫県に生まれました。1944年(昭和19年)徴兵で中国戦線へ。このとき重傷を負って、今も体に散弾の破片が残っているそうです。戦後東京大学法学部政治学科卒業。その後東京海上火災保健、現在の日本興亜損保株式会社の社長となりました。経済同友会副代表、専務理事を務めました。現在は経済同友会終身幹事、

財団法人国際開発センター会長を努めています。高潔な人柄と教養で経済界のご意見番として知られています。また憲法九条改定反対のため全国を講演して回っておられます。全国の九条改定反対運動のシンボルの存在とも言われています。

「戦争をしているアメリカと平和憲法を持つ日本では価値観が違う」との発言は注目されました。

また、武器輸出三原則を廃止し、アメリカ型「軍産複合国家」をめざす財界主流派に対して、財界のなかから、するどい批判、提言を表しています。

著書に「戦争のほんとうの恐ろしさを知る財界人からの直言」「これからの日本の座標軸」「立ち位置変えず」

「9条がつくる脱アメリカ型国家」などがあります。

品川さんのおはなしは戦争体

験や経済界の内幕をもとに憲法9条、戦争をしない21世紀の日本のかたちを展望し、何よりも淡々と語りの中にも説得力のある話で、私たちが元氣をもらせる機会となるでしょう。

現在の日本は長引く不況と経済の低迷などで、国民生活や中小業者の営業の危機も深刻です。経済、社会不安の解消は自民党でも民主党でも打開できず混迷を深めています。また先の参議院選挙では憲法擁護の政党も後退するなど、状況は複雑です。今、こういうときだからこそ、日本の社会や暮らし、政治に何が大切なのか、みんなでじっくり考え、話し合う時ではないでしょうか。

戦前戦後の危機的状況を乗り越えてきた品川さんの話は、今、とても貴重なものとなるでしょう。

九月二十五日のつどいにご参加を重ねてお願いいたします。(東久留米「九条の会」事務局)

地域・職域九条の会の取り組み

キリスト者九条の会 4周年講演会



7月19日キリスト者九条の会
は、基督教独立学園前校長の武
祐一郎先生を講師に「憲法九条
と日本の将来」と題しての講演
でした。

◎非武装で日本の国が守れる
か？米国が守ってくれると思っ

ている人々が多いと指摘し、単
独でも集団でも日本は武力では
守れない。◎日本の国際的使命。
中村哲著「アフガニスタンで
考える」国際紛争と憲法九条」
1999年オランダ・ハーグで
行われた平和会議で結論に「公
正な世界秩序のための原則」第
一原則「各国会議は日本国憲法
九条のような、政府が戦争する
ことを禁止する決議を採択する
べきである」千葉真著『未完
の革命』としての平和憲法』あ
とがきを引用して「日本国憲法
は21世紀初頭の現在、戦争と内
戦、貧困と飢餓に悩まされ続け
る現代世界にあつて、依然とし
て未完の課題ないし未完の革命
としての歴史的意義はいささか
も失っていない」と紹介。
最後にダグラス・スミスの言
葉「憲法九条を失うことは日本
だけではなく、人類にとって大
きな悲劇だ！」と結んでいます。
(キリスト者九条の会・岸)

東部九条の会 5周年のつどい



8月8日東部九条の会5周年
のつどいが、東部地域センター
で開催され45名の参加者で満席
となりました。講師は元都立大
講師の塚田勲さんで、「憲法9
条と日米安保」というテーマで
お話してもらいました。初めて
耳にする方も、復習された方も
集中した一時間半でした。

日米安保条約を基にした「日
米同盟」にしがみつく議論が多
いが、これはあくまで軍事同盟
であり日本国憲法とは相いれ
ず、日本を戦争の方向に縛って
いると指摘。沖縄基地の実態や
安保を破棄すべきだとする県民
世論なども示し、日米安保が

いま日本に何をもちたしている
か、一人ひとりが良く考え、声
を上げ行動していきましよう
と呼びかけられました。
(東部九条の会・糸魚川)

九条を守る何でも 展覧会

「ピースの木」

は、たくさんの方々の方々の力を借り
て4回目を終えました。昨年か
らは、ピースTシャツで手をつ
なぐ「Tシャツ1000人展」と
し、会場の「スペース105」
は大きな物干し場のようにな
り、今年は116枚のTシャツ
が集合しました。

出品者の創作体験に違いが
あつても、それぞれが一枚のT
シャツに込めた思いに優劣は無
く、完成したTシャツたちはど
れ一つとして同じ物はありません。
際立つのは個性であり、平
和を愛する一人ひとりの心で
す。
終了後スタッフ一同、続けるこ

との大切さを話し合い、来年も開催することを決めました。

(実行委員 富樫智子)



九条を守る何でも展覧会 「ピースの木」 Tシャツ100人展

の様子と

最終日に行われた炭田契恵子さんによるライアーミニコンサートと響のワークショップ



《平和を考える本》



『売られていく子どもたち』

本木洋子・茂手木千晶 著(新日本出版社)

世界各地で売買される子どもの数は、年によって、百二十万人近いといわれている。

彼らは、物乞いや工場労働、売春や臓器売買にも利用され、誘拐されたり行方不明になる子どもの話は、今も後を絶たない。

国連では二千年に、地球上の全ての人が平和で健康に暮らせるようにと、二十五年を目標に「ミレニアム開発目標」を定めた。そのためには、まず今の地球の実態を知らねばならない。

本書は、特に子どもに焦点を当て、学校に行けない子どもや路上生活をする子どもの実態を記録・報告した、全四巻シリーズの第一巻である。

原水爆禁止2010年 世界大会に参加して

草刈 智のぶ

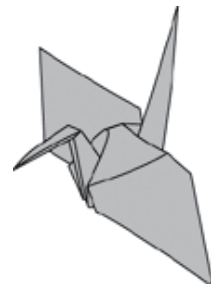
路面電車と街を流れる川、広島は私の故郷熊本の前並みによく似ていました。でも大きく違うのは、原爆ドーム・平和記念公園・様々な記念碑・広島平和記念資料館、「原爆死没者慰霊式・平和記念式」があることで



す。65年前にこの広島に原爆が投下された事実が最大の違いです。

今年の慰霊祭には国連の潘基文事務総長・ルース駐日米大使・英仏臨時代理大使など、過去最多の74カ国の政府関係者が参列していました。NPT再検討会議が開催されたこともあり、核のない平和な世界の実現を願う人々の思いを集めた記念すべき式典でした。国内・海外から集まった多くの人々と一緒にこの日を過ごせたことは、私の平和を願う心を強くさせ、平和を守る行動へのエネルギーを満たしてくれました。

「あと、10年しか被爆体験は語られない。原爆投下から65年、語る人々の年齢を考えると10年後がタイムリミット。だから聴いたことをそれだけで終わらせないで、なにか行動につなげてほしい」と『原水爆の被害を学び、知らせる運動』の分科会では、161名の参加者、特に半



分を占めていた若者たちに向けたこの結びの発言が印象的でした。そして、その発言を受けた若者たちが「この広島で聴いたことを職場で伝えていきたい」と語る姿に頼もしい未来を感じました。

平和への願いは被爆をした方々が勇気をもって体験を語ることで、その勇気に寄り添いながら聴く人々の心があって、ずっと語り継がれるものだと確信しました。

私も実際に被爆地広島で自分の耳で被爆体験を聴いたことで、被爆の事実が自分の身体に入ってきたと感じました。1年に一度、被爆地に集うことで歴史的な事実が個人の思いになると気がついた3日間でした。

あけてびっくり玉手箱！
目からウロコの宝箱！

2010年
東京・9条まつり 11月13日(土)
9-Jo Day in Tokyo 大田区産業プラザP10

♪ なにを見ようか、
なにを聴こうか、
なにを買って帰ろうか♪

東京・9条まつり実行委員会 TEL03-3239-6716

東久留米「九条の会」5周年の集い

一品川正治さん講演会—

「戦争、人間、そして憲法九条」

—市民による平和朗読劇—

「ハテルマシキナ」よみがえりの島・波照間

日時：9/25（土）14:00～16:30（開場13:30）

場所：東久留米市立生涯学習センター（旧公民館）

協力券：500円（高校生以下無料）